

式 辞

校庭の木々の芽もほころび始め、真弓の丘にも春の気配を感じられる今日の佳き日に、令和5年度奈良県立奈良北高等学校第17回卒業証書授与式を、このように多くの保護者の皆様をお迎えして挙行できますことは、私ども教職員にとりましても、大きな喜びであり感謝の念に堪えません。また、ご多忙の中、ご臨席賜りました来賓の皆様方、生徒たちの門出を共に祝ってくださることに感謝申し上げます。高壇からではございますが、心よりお礼申し上げます。

只今、卒業証書を授与いたしました第17期生、350名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。本校の教育課程を修了し、めでたく卒業の日を迎えることができたのは、みなさん一人一人が、入学以来たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることはいうまでもありません。

みなさんの奈良北高校での3年間は、コロナ禍の中での入学式に始まり、学校行事においても、体育祭は学年別、北陵祭は1年生では分散登校で、準備も全員が集まってはできない中、本当によく工夫し協力し、目一杯楽しみました。2年生は、全員そろってではありませんでしたが、非公開での実施でした。3年生になり、やっと行事を含め教育活動が平常通りにはなりましたが、コロナ後をどう過ごすか、学んだことをどう生かしていくかを問われる一年であったと思います。そんな中、皆さんは、コロナ前にはではなく、様々な活動の中で、協力しながら奈良北高校の次のステップに向けて取り組んでくれました。

困難なことをがあっても、周囲に助けられ、協力しながらそれを乗り越え、更に取捨選択しながら最善を見つけて行く、これからもこの経験を忘れずに、他人への感謝の気持ちをもって、自らの信じる道を進んでほしいと思います。

さて、世界では、これまで、安心・安全・不変と思われてきたことが次々と崩れ「加速度的に変化し、先行きが不透明な時代」が続くと予想されています。世界を大きく揺るがし、今まで維持されてきた国際秩序を根底から覆すとともに、私たちの生活に大きな影響を与えたロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ・ガザ地区での戦闘には、未だに出口が見えていません。また、5類に移行したとはいえ、新型コロナウイルス感染症の労働環境や雇用、経済成長への影響は甚大です。さらに、地震や大雨等自然災害もおこっています。みなさんは、自分の意思にかかわらず、この地球上で起こっている様々なことに敏感に影響される社会で生きて行くこととなります。世界や自分の身近なところで起こっていることに疑問や違和感を感じたら、立ち止まって情報を集め、内容を吟味し、考え、想像力を巡らせ、その時点の最適解を導いてほしいと思います。

そのためには、様々な立場の人々、自分とは異なる視点をもった人々と、考えを掘り下げてみてください。変化し続ける社会では、様々な意見をもつ人と交わり、話し合い、考えを共有していくことは欠かせません。

荘子の言葉に「もの、あれに非（あら）ざるはなく、もの、これに非（あら）ざるはなし」という言葉があります。ものごとの見方や捉え方は、様々で、いろんな角度で物事を見ることで、全く異なった考えが思い浮かびます。自分にもともと見えるものは限られていて、それを意識し、他人の意見を聴き、意見を交わすことは、発想が柔軟になり、壁にぶち当たった時の突破口になり得ます。心豊かで平和な住みやすい社会を構築する使命を託されている皆さんには、柔軟な発想と、感性を育み続けてほしいと思います。

二学期の終業式に、アインシュタインの「人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる」という言葉を紹介しました。世間では、業績、人脈、経験など自分が得たもの、もっているものが多いほど価値を高められると考える人も多いかもしれませんが、しかし、人にどのように接するか、接し方で、その人にとって「あなたがどういう人なのか」が決まります。目に見えない思いが相手にとって価値があるものとなるのです。

卒業生の皆さんは、素晴らしい個性や能力をもっています。自ら探究し、それらを磨き上げ、既成の概念にとらわれることのない柔軟な発想で、歩んでいってほしいと思います。

そして、夢中になれることを見いだし、それに真摯に向き合い、真剣に打ち込むことで、本物を手にし、自身を輝かせてください。

「明日描く絵が一番美しい」パブロ・ピカソの言葉です。日々ベストを尽くすことが明日を引き寄せます。

明日から、一人一人、新しい歩みが始まります。各自が、それぞれの環境の中で、持つ力を発揮されることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様方、ご卒業の日を無事迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。お子様の見違えるように成長された姿に感慨もひとしおのことと存じます。深い愛情をもって慈しみ大切に育てられましたことに心より敬意を表します。お子様をお預かりして依頼、私ども教職員も精一杯励んで参りましたが、まだまだ至らぬことも多くあったかと存じます。これからは、お子様自ら、各々の進路に応じて、自らの力で前途を切り開き頑張ってくれるものと確信しております。

また、三年間にわたり本校の教育活動に温かいご支援とご協力を賜りましたことに対しまして、改めて、心より厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、奈良北高等学校の教育活動推進のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、350名の卒業生の皆さん一人一人が、次の世代を担う人材として、大きく飛躍されることを願い、みなさんの健康と限りない発展を心よりお祈りし、式辞といたします。

令和6年3月1日

奈良県立奈良北高等学校
校長 仲田千鶴

